

人材養成および教育研究上の目的

資源循環・環境工学専攻においては、文理融合型大学院として環境分野における実践的教育による学力の向上と環境マインドを有する人材を育成することを目的とする。

三つの方針（三つのポリシー）

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)	学生の受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)
<b>&lt;修士課程&gt;</b>		
<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、修士（工学）の学位を授与する。</p>	<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、次に掲げる方針に基づき、教育課程を編成・実施する。</p>	<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。</p>
<p><b>知識・理解</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 専修する専門分野に関する知識と技術を身につけ、それらが社会で果たす役割を理解できる。(DP1)</p> <p><b>【到達指標】</b> 専修する専門分野に関する知識と技術について、社会で果たす役割も含めて説明することができる。(DP1)</p>	<p><b>【求める学生像】</b> ・将来資源循環・環境分野の技術開発や研究開発に積極的に携わる人 社会人 ・社会人経験を有し、より深く環境分野を学ぶことで社会に貢献する志を持つ人 留学生 ・本専攻で学ぶために必要な環境工学に関する基礎学力と日本語および英語による基本的なコミュニケーション能力を有し、国際社会に貢献する志を持つ人</p>
<p><b>技能</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 研究成果を公表するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につける。(DP2)</p> <p><b>【到達指標】</b> 研究成果を他者に説明し、異なる考えを持つ者との間で建設的な意見交換ができる。(DP2)</p>	<p><b>【入学者選抜の在り方】</b> 一般入学試験 ・環境分野の学習および研究に必要な基礎学力と意欲を有しているかを筆記試験および面接により判定する。 推薦入学試験 ・本専攻で学ぶために必要な基礎学力を有していると認められる福岡大学工学部の成績優秀者に対しては、面接試験による推薦入学試験を行う。 社会人入学試験 ・書類審査、小論文、面接による社会人入学試験を行う。 留学生入試 ・環境分野の学習および研究に必要な基礎学力と意欲を有しているかを筆記試験および面接により判定する ・日本語能力語学検定試験のスコアにより評価する</p>
<p><b>態度・志向性</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 専門の枠にとらわれない幅広い分野への学習・研究に取り組む意欲を持っている。(DP3)</p> <p><b>【到達指標】</b> 広い視野で研究に取り組む意欲を持っている。(DP3)</p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 国内インターンシップを通じて実社会の異分野の専門家と円滑なコミュニケーションを図り研究意欲を身につける。</p> <p><b>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】</b> 専修部門毎の実験実習により指導教員から個別に研究指導を受ける。</p> <p><b>【学修成果の評価方法】</b> 特別研究科目における研究課題の取り組み状況で評価する(DP3)。</p>

人材養成および教育研究上の目的

資源循環・環境工学専攻においては、文理融合型大学院として環境分野における実践的教育による学力の向上と環境マインドを有する人材を育成することを目的とする。

三つの方針（三つのポリシー）

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)	学生の受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)	
<b>&lt; 修士課程 &gt;</b>			
<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、修士（学術）の学位を授与する。</p>	<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、次に掲げる方針に基づき、教育課程を編成・実施する。</p>	<p>工学研究科資源循環・環境工学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。</p>	
<p><b>知識・理解</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 専修する専門分野に関する知識と技術を身につけ、それらが社会で果たす役割を理解できる。(DP1)</p> <p><b>【到達指標】</b> 専修する専門分野に関する知識と技術について、社会で果たす役割も含めて説明することができる。(DP1)</p>	<p><b>【教育課程の編成】</b> 実地見学を中心とした導入教育や環境法及び環境行政などの学際的な編成となっている。</p> <p><b>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】</b> 専攻教員全員による総合教育及び、自己の専修に属する教員から専門分野の先端的な工学及び学際的な知識を修得する。</p> <p><b>【学修成果の評価方法】</b> 単位取得状況により判断する。(DP1)</p>	<p><b>【求める学生像】</b> ・将来資源循環・環境分野の政策立案に積極的に携わる人 社会人 ・社会人経験を有し、より深く環境分野を学ぶことで社会に貢献する志を持つ人 留学生 ・本専攻で学ぶために必要な環境工学に関する基礎学力と日本語および英語による基本的なコミュニケーション力を有し、国際社会に貢献する志を持つ人</p>
<p><b>技能</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 研究成果を公表するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につける。(DP2)</p> <p><b>【到達指標】</b> 研究成果を他者に説明し、異なる考えを持つ者との間で建設的な意見交換ができる。(DP2)</p>	<p><b>【教育課程の編成】</b> 「コミュニケーションスキル特論」、「英語論文スキル特論I及びII」の修得により、海外実習や海外研修の際の英語コミュニケーション能力を身につける。</p> <p><b>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】</b> 特別研究科目では修士論文の研究課題を指導教員の助言を得て学生毎に設定する。学生は専修部門毎の少人数ゼミまたは実験・実習形式授業により指導教員から個別に研究指導を受ける。</p> <p><b>【学修成果の評価方法】</b> 導入教育においてプレゼンテーション能力を評価するとともに、特別研究科目では研究課題の取り組み状況で評価する。(DP2)</p>	<p><b>【入学者選抜の在り方】</b> 一般入学試験 ・環境分野の学習および研究に必要な基礎学力と意欲を有しているかを筆記試験および面接により判定する。 推薦入学試験 ・本専攻で学ぶために必要な基礎学力を有していると認められる福岡大学工学部の成績優秀者に対しては、面接試験による推薦入学試験を行う。 社会人入学試験 ・書類審査、小論文、面接による社会人入学試験を行う。 留学生入試 ・環境分野の学習および研究に必要な基礎学力と意欲を有しているかを筆記試験および面接により判定する ・日本語能力語学検定試験のスコアにより評価する</p>
<p><b>態度・志向性</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 専門の枠にとらわれない幅広い分野への学習・研究に取り組む意欲を持っている。(DP3)</p> <p><b>【到達指標】</b> 広い視野で研究に取り組む意欲を持っている。(DP3)</p>	<p><b>【教育課程の編成】</b> 国内インターンシップを通じて実社会の異分野の専門家と円滑なコミュニケーションを図り研究意欲を身につける。</p> <p><b>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】</b> 専修部門毎の少人数ゼミにより指導教員から個別に研究指導を受ける。</p> <p><b>【学修成果の評価方法】</b> 特別研究科目における研究課題の取り組み状況で評価する(DP3)。</p>	<p>（この欄は上記の「求める学生像」および「入学者選抜の在り方」の項目と重複するため、ここでは記載しません。）</p>